

地域ポテンシャル

- リニア中央新幹線の開業
- 広域幹線道路網の整備進展
(新名神高速道路、東海環状自動車道、北勢バイパス)



東海環状自動車道東員IC

課題

- 路線バスのりばの分散
- 中心市街地の回遊性不足
- 並木空間の未活用



近鉄四日市駅前(中央通り)の状況

国・市の連携のもと、中央通り・国道1号と一体となった新たなバスターミナルを整備 まちづくりと連携し、モーダルコネクト(交通結節機能)を強化

バス停の集約・スマート化による交通結節機能の強化

- 乗り場の集約化による公共交通の利用促進
- 北勢地域の一大広域交通拠点化
- 将来的な新モビリティ乗り入れ
- デジタル化によるスマートバスタの構築

歩行者の円滑な移動・乗換を支援する交通拠点の整備

- シームレスな乗換の実現
- バリアフリーな交通拠点の整備
- 分かりやすい案内の充実
- 運行効率に配慮したバス停配置
- 天候等に左右されない快適な待合空間

並木空間の再編による魅力あるスペースの創造

- シビックプライドを醸成する絵になる景観
- 歩行者優先の回遊・滞留空間の確保
- 市民活動のフィールドとなる空間の確保



駅周辺と一体となった賑わい・歩行空間の創出

- 玄関口として高質で魅力的な都心空間
- 「歩く」を支える周辺の既存施設との接続性
- 楽しい・居心地の良い待合空間の実現
- 総合インフォメーション機能の充実
- 空間の高次利用による賑わいの創出

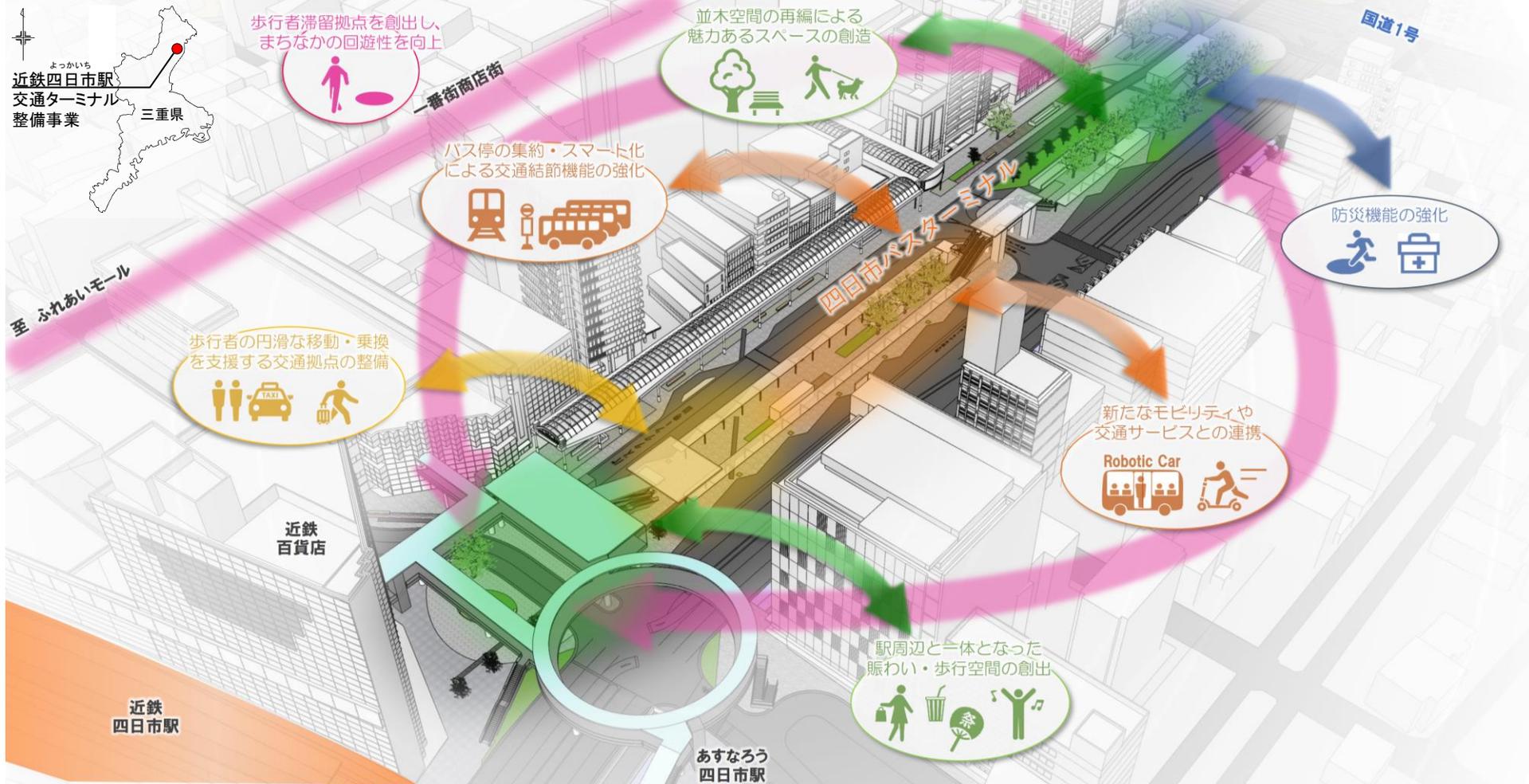
防災機能の強化

- 帰宅困難者の受け入れ拠点として活用
- 防災物資の備蓄機能
- 災害発生時の効果的な情報提供機能

新たなモビリティや交通サービスとの連携

- 将来的な新モビリティ導入への対応
- MaaS等を活用した市内の回遊性向上ならびに公共交通の利便性向上
- ICTなどを用いた高度なサービスの提供

国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業 将来の姿



歩行者の円滑な移動・乗換を支援する交通拠点の整備



新たな技術を活用したホスピタリティある交通拠点
出典: Head of Design and Motion Graphics at Saatchi & Saatchi London

バス停の集約・スマート化による交通結節機能の強化



新技術による交通案内
出典: 道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる〜人々の幸せにつながる道路〜」

並木空間の再編による魅力あるスペースの創造



多目的な車両を活用した賑わい創出
地域の魅力をアピールする広場空間
出典: 四日市JAZZフェスティバル

駅周辺と一体となった賑わい・歩行空間の創出



まちに賑わいを創出するウォークアブルな空間
出典: バスタMARKET
出典: なんばひろば改造計画

新たなモビリティや交通サービスとの連携



将来的な新モビリティ導入への対応

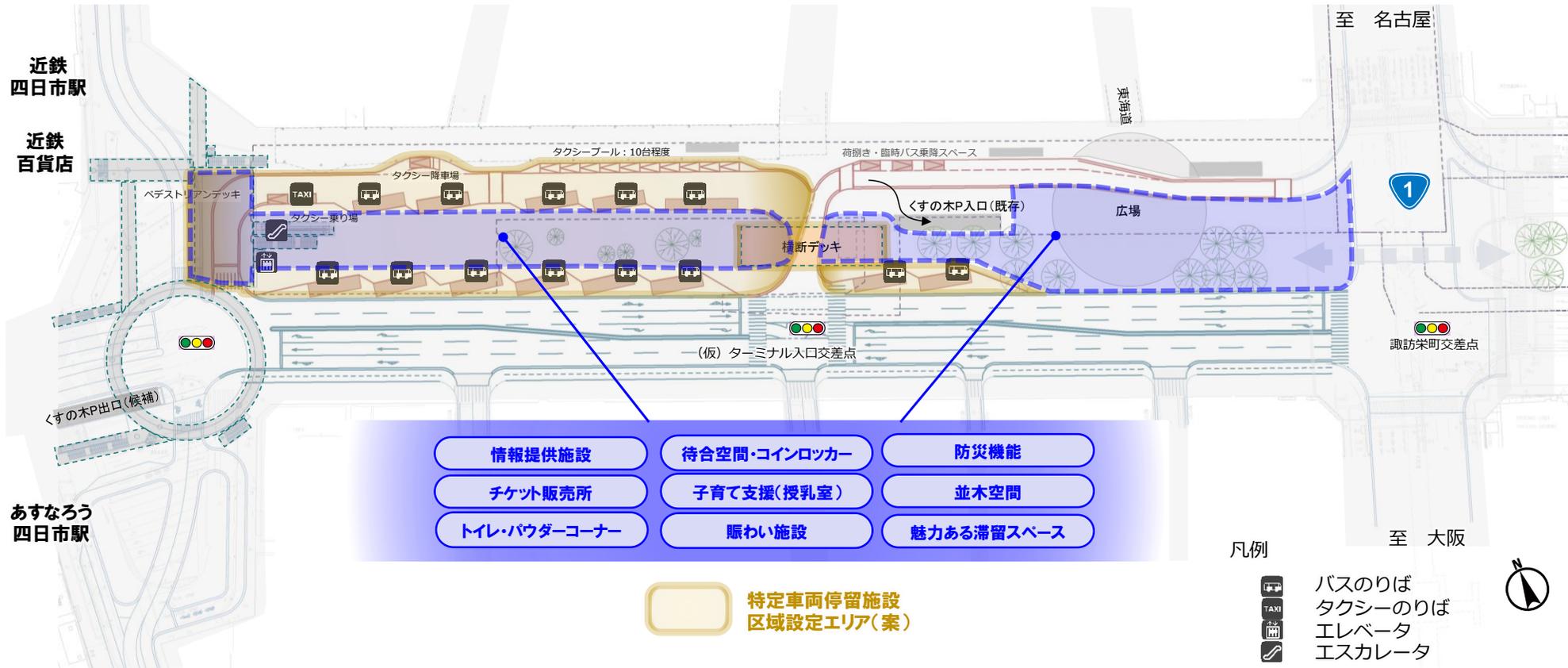
防災機能の強化



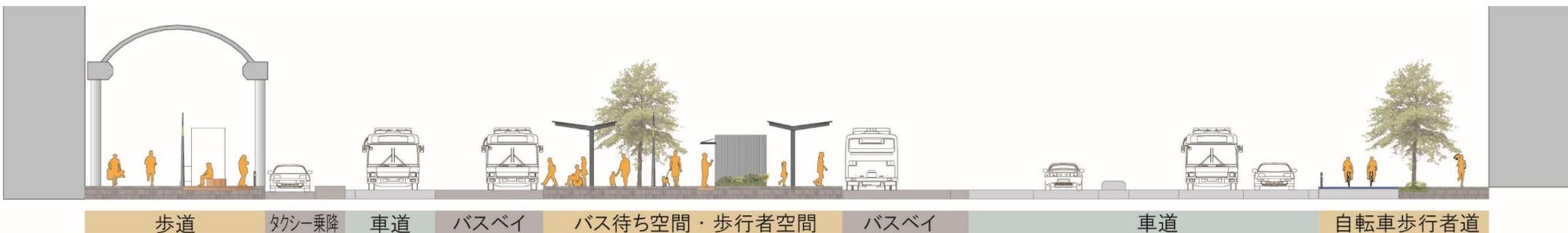
帰宅困難者の受入れ拠点として活用
出典: 平成28年度 東京都・渋谷区 合同帰宅困難者対策訓練について

施設配置計画【平面図・立面図】

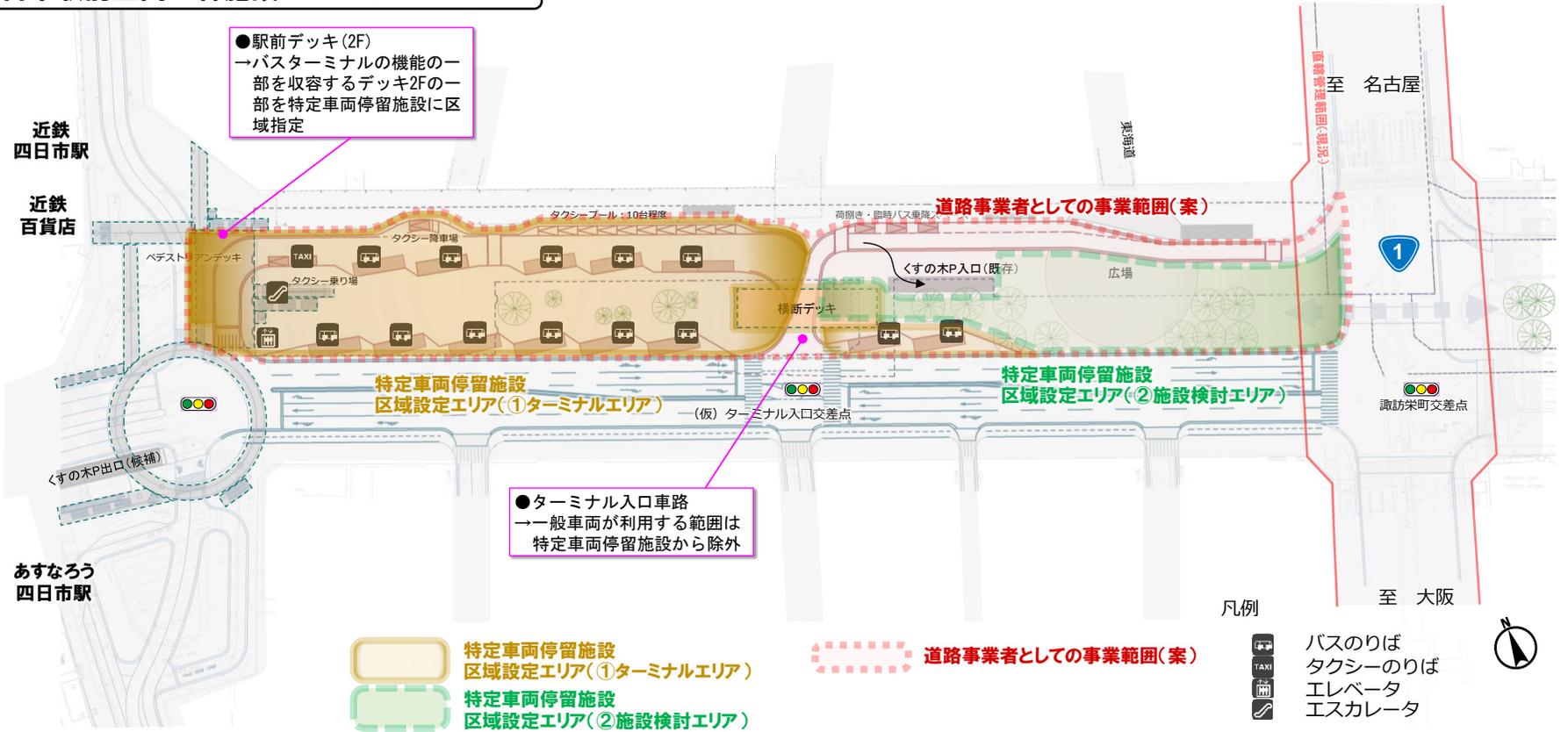
近鉄四日市駅前空間の各施設のイメージ



近鉄四日市駅前空間の立面図



■近鉄四日市駅前空間の各施設のイメージ



■道路事業者・都市事業者としての事業範囲の設定案



段階的な整備の進め方～整備ステップ～

	令和2年度 (2020)	中期ステップ	長期ステップ
バスターミナル	<p>整備方針</p> <p>事業計画</p> <p>検討・設計・工事</p>		
近鉄四日市駅周辺整備		検討・設計・工事	
関連施設移設等		検討・設計・工事	

一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の整備効果について

- ・駅の東西南の3箇所に分散するバス停を1箇所に集約し、利用者の安全性及び利便性を確保
- ・国や市、交通事業者、及び周辺まちづくりと連携し、官民連携による『交通拠点』整備により、魅力ある賑わい空間を創出

1. 事業概要

- ・事業箇所：みえ よっかいち はまだちよう
三重県四日市市浜田町
- ・面積：約0.7ha
- ・事業費：約75億円
- ・事業内容：
-交通ターミナル整備
(バス：13バス
タクシー：乗車2台、降車1台)
-ペDESTリアンデッキ整備



2. 課題

課題① バス、一般車、歩行者の混在、バスのりばの分散による安全性および利便性の低下

- ・近鉄四日市駅周辺では、駅周辺のバスのりばへのアクセス時に、バスと一般車、歩行者との錯綜が発生。(図3)
- ・駅東口交差点(仮称)の歩行者交通量(東西方向)：7,913人/10h
調査日 令和元年11月8日(金)9:00~19:00
- ・近鉄四日市駅周辺では、駅の東西南にバスのりばが分散しており、バス利用時の他交通モードとの乗り換えアクセスが低下している。(図4)



課題② バス待ち行列による歩行者空間の阻害

- ・近鉄四日市駅周辺の既存のバス待ち環境は歩道上に設けられており、平日の通勤・通学時間帯ではバス待ち利用者による待ち行列が発生するなど、歩行者の通行を阻害する状況が見受けられる。(図5)



3. 整備効果

効果① バスターミナル整備による歩行者の安全性向上

- ・交差点横断歩道の廃止とペDESTリアンデッキの整備により、バス及び一般車と歩行者の分離による歩行者の安全性向上。(図6)

効果② バスターミナル整備による利便性向上

- ・バスターミナルの整備により、東西南に分散していたバスのりばと交通モードの集約による利便性向上。
- ・駅からバスターミナルへの歩行者動線内に、屋根・エスカレーター・エレベータを備え、誰もが利用しやすいバリアフリーな交通拠点の整備。(図6)

効果③ 利便機能を備えた魅力的なバス待合空間の創出

- ・天候等に左右されず、利便機能(トイレ等)を備えた、利便性の高い楽しく居心地の良い魅力的なバス待合空間の創出。(図7)



効果④ バスターミナル整備による快適な歩行空間の確保

- ・バスターミナル整備により、バス待ち行列と歩行者の分離による駅東側アーケード下の歩道の円滑な歩行空間の確保。
- ・歩行者の円滑な移動動線確保による利便性及び回遊性の向上、また、高齢者・障害者等の移動機会の増大が期待。

効果⑤ 防災機能の強化

- ・周辺施設との連携や待合空間の活用による防災機能の強化。
 - 災害情報、周辺防災施設情報等の提供
 - 災害時に備えた備蓄品の保管
 - 災害発生時の帰宅困難者対策

効果⑥ 駅周辺における回遊性・賑わいの創出

- ・並木空間や商業・都市機能といった多様な機能を有する周辺施設との連携や新たなモビリティの導入・交通サービスの提供による回遊性・賑わいの創出。(図8)
- 駅周辺全体としての回遊性向上
- 魅力ある賑わい・歩行空間の創出
- 滞留・回遊性の向上による中心市街地の活性化
- 魅力ある空間の創出によるシビックプライドの醸成
- 新たな交通サービスの提供による公共交通利用促進

